

平成30年度遠野市市税等収納対策プロジェクトの総括

1 市税等の収納状況

(1) 収納実績及び収納率

財政基盤の強化・安定と年々増加傾向にあった収入未済額の解消を目指し、市税等収納対策プロジェクトとして取組を行っている。平成30年度の収納状況は、次の表のとおりである。

収納実績は、調定額 5,972,543千円に対し、収入済額は 5,677,655千円、不納欠損額 12,275千円、収入未済額 282,613千円、合計収納率は 95.06%となり、現年度分の収納率は、第2次遠野市総合計画前期基本計画まちづくり指標に掲げた 97.50%を 0.16ポイント上回る 97.66%、滞納繰越分の収納率は、29.0%を大きく上回る44.27%となった。

前年度の調定額との比較では、現年度分で 169,149千円の増、滞納繰越分で 37,648千円の減、合計で 131,501千円の増となった。

同じく収納率の比較では、11の収入科目のうち8科目で合計が前年度以上となった。主なものは、住宅使用料が1.26ポイント、保育料が 0.98ポイント、国民健康保険税が0.59ポイント、市税が0.49ポイント上回った。農業集落排水・下水道事業については、企業会計移行に伴い3月末での打切り決算となったため、8.62ポイント下回った。

収入未済額の各科目の合計は 282,613千円となり、収納率の向上により前年度と比較して 4,035千円の減となった。市税と国民健康保険税の収入未済額が全体の約6割を占めているが、その額は前年度と比較して 16,821千円の減となった。

平成30年度収納実績

(単位：千円、%、pt)

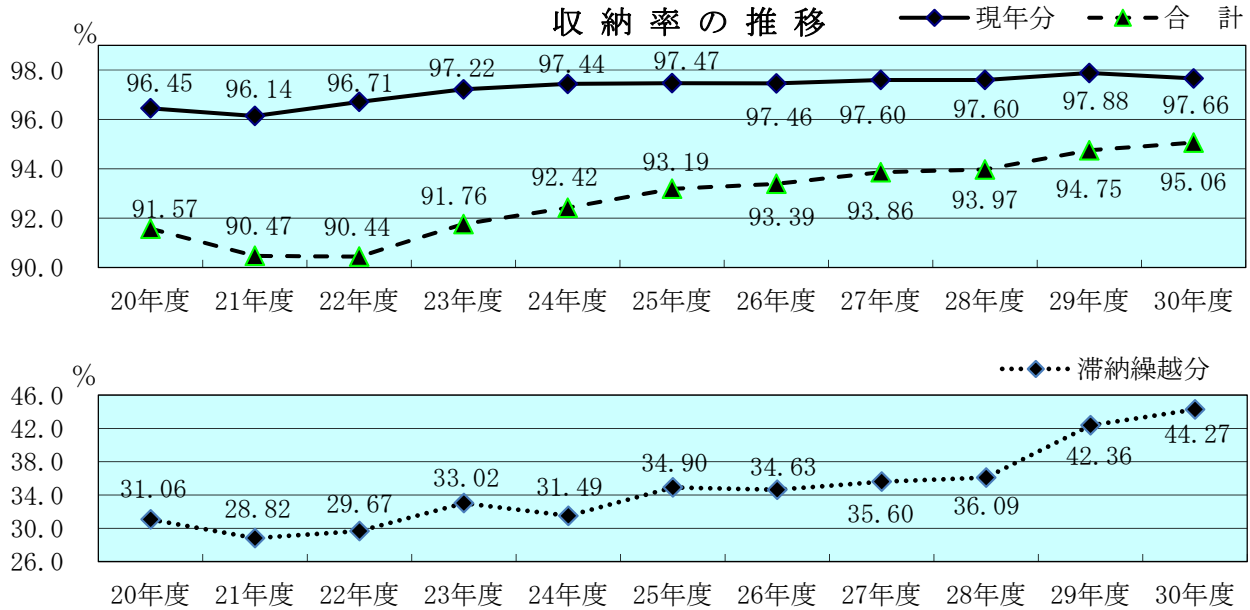
収入科目	年度	平成30年度				平成29年度		収納率比較 (30-29)	
		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	収入未済額		
市税		3,011,932	2,917,960	5,113	88,859	96.88	95,020	96.39	0.49
保育料		105,607	102,066	192	3,349	96.65	4,118	95.67	0.98
住宅使用料		105,936	89,123	0	16,813	84.13	18,021	82.87	1.26
奨学資金		50,213	42,503	0	7,710	84.65	7,869	85.36	△0.71
学校給食費		95,544	95,544	0	0	100.00	0	100.00	0.00
国民健康保険税		575,091	481,231	4,501	89,359	83.68	100,019	83.09	0.59
後期高齢者医療保険料		208,202	207,807	10	385	99.81	795	99.61	0.20
介護保険料		646,076	637,490	2,326	6,260	98.67	6,471	98.52	0.15
ケーブルテレビ使用料		350,745	350,448	7	290	99.92	266	99.92	0.00
農業集落排水 下水道事業		169,395	153,725	24	15,646	90.75	1,002	99.37	△8.62
水道料 (企業会計3月末)		653,802	599,758	102	53,942	91.73	53,067	91.86	△0.13
合計 ①	現年度分	5,681,471	5,548,790	0	132,681	97.66	116,968	97.88	△0.22
	滞納繰越分	291,072	128,865	12,275	149,932	44.27	169,980	42.36	1.91
	計	5,972,543	5,677,655	12,275	282,613	95.06	286,648	94.75	0.31
前年度 実績 ②	現年度分	5,512,322	5,395,280	74	116,968	97.88			
	滞納繰越分	328,720	139,255	19,785	169,680	42.36			
	計	5,841,042	5,534,535	19,859	286,648	94.75			
前年度 比較 ①-②	現年度分	169,149	153,510	△74	15,713	△0.22			
	滞納繰越分	△37,648	△10,390	△7,510	△19,748	1.91			
	計	131,501	143,120	△7,584	△4,035	0.31			

(注) 表示単位未満四捨五入を基本に、縦計が合計①欄の計と合うよう切捨て・切上げている箇所がある。収納率は、円単位での数値で計算した結果を記載している。

(2) 収納率の推移

平成30年度における現年度分の収納率は、97.66%であり、前年度と比較して0.22ポイントの減となった。また、滞納繰越分の収納率は44.27%であり、前年度と比較して1.91ポイントの増となり、4年連続で前年度を上回った。

合計の収納率は95.06%と前年度より0.31ポイントの増となり、8年連続で前年度を上回った。



(3) 不納欠損の状況

市税及び国民健康保険税の不納欠損は、5年時効完成による消滅が852件・6,624千円、執行停止3年による消滅が453件・2,990千円、合計では1,305件・9,614千円となった。

市税及び国民健康保険税以外の不納欠損は、448件・2,661千円で、主なものは、介護保険料が376件・2,326千円、保育料が30件・192千円となった。

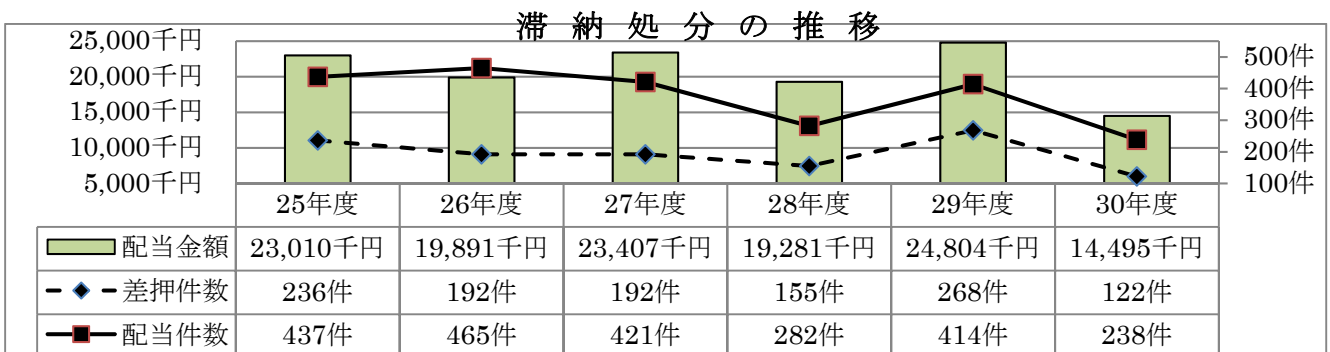
2 平成30年度の収納対策の取組

(1) 催告書の共同発送及び臨戸催告の実施

関係課による催告書の共同発送を4月、7月、11月の年3回実施し、その各翌月を徴収強化月間と位置付け、担当部課長等又は応援部課長等と担当者による臨戸催告を実施した。

(2) 滞納処分状況

最近6年間における差押件数、配当件数及び配当金額は、次の表のとおりである。



(3) その他の収納対策

税務課窓口のテレビ画面やチラシ等の紙面を通じ、納期内納付の啓発活動を行った。

また、滞納整理の研修会を開催し、スキルアップを図るとともに、関係課で滞納者の生活実態等の情報共有を行いながら、効率的な納付交渉や効果的な滞納処分を進めた。なお、市税においては、岩手県地方税特別滞納整理機構と連携し、滞納整理を進めるとともに、不動産公売を実施した。